

Universal MaaS とは、障がい者、高齢者や訪日外国人など、何らかの理由で移動にためらいのあるお客さまが快適にストレスなく移動を楽しめる移動サービスです。公共交通機関の運賃、運航・運行状況、バリアフリー乗り継ぎルートなどの情報をお客さまに提供するとともに、お客さまのリアルタイムな位置情報やお客さまが必要とする介助の内容を交通事業者、自治体、大学が共有し連携することにより、シームレスな移動体験を実現します。

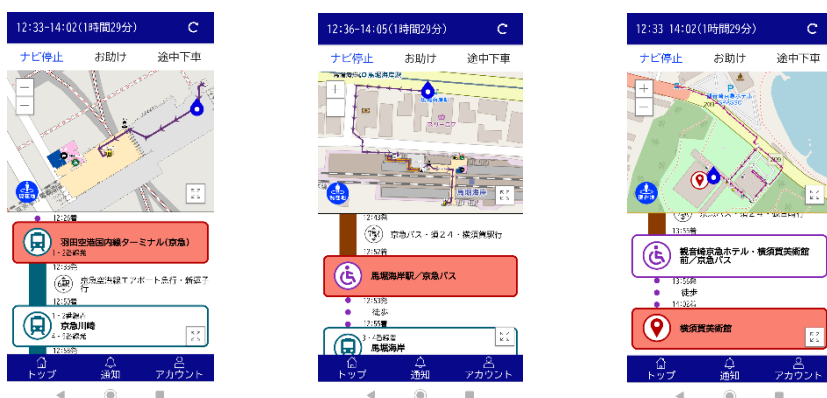
4 者は、2019 年 6 月から産学官共同プロジェクトを開始しました。羽田空港第 2 ターミナルから横須賀美術館までの移動について、開発中の「お客さま用アプリ」、「サービス提供者用アプリ」を用いた実証実験を繰り返し、車いすをご利用のお客さまと各サービス提供者双方の意見を反映した Universal MaaS のプロトタイプを構築しました。

今後さまざまな特性をお持ちのお客さまや各サービス提供者での試用を重ね、サービス提供者間で連携し、2020 年度内の社会実装開始を目指します。

■ Universal MaaS プロトタイプアプリ

①お客さま用アプリ

移動時に介助を必要とする車いすをご利用のお客さま向けのバリアフリー乗り継ぎルートナビ。空港から目的地までの経路検索や、空港や駅構内・施設周辺のルート案内が確認できます。



②サービス提供者用アプリ

お手伝いが必要なお客さまの位置情報や属性情報を閲覧できます。お客さまが空港や駅、施設に接近したことをアプリで通知します。



■実証実験パートナー(2020年2月7日時点)



①アドバイザー

LocaliST 株式会社

②実証フィールド

Haneda Robotics Lab(日本空港ビルデング株式会社)

③車いす用データ提供

一般社団法人 Wheelog

④システム開発

株式会社パソナテック: アプリケーション、インフラ基盤

日本電気株式会社: 混雑レベル表示機能

株式会社 NTTドコモ: 行き先間違い防止機能

株式会社ヴァル研究所: 乗り継ぎ検索機能

以上